

さくらやま便り

No.377号 2026年（令和8年）2月15日



巻頭文

施設長 村本 英邦

2月に入り、日中は春の気配を感じる日もありますが、寒さは今がピークです。感染症も含めた健康管理に気を遣う毎日ですが、皆様は如何お過ごしですか。

今月の8日に行われた衆議院選挙の投票日は雪の降る寒い日でした。それでも多くの有権者が投票所に足を運んだようです。それだけ今回の選挙には国民の強い関心が寄せられていたのでしょう。結果は、投票率が56%を超えて自民党の圧勝でした。

シャローム桜山でも不在者投票を行いました。入居者の皆様が日本の将来に関心を持って、そのあるべき姿、進むべき方向を真剣に考えておられることを強く感じました。

そのようなお姿を拝見しながら、物事について関心を持つことの大切さを考えていました。年明けのネットニュースに書かれていた、遠い田舎で独り暮らしをする高齢の母親に会うために帰省した息子の話を思い出しました。この話は、毎月アドベンチスト福祉会の職員に書いている手紙や、第1、第2の土曜日に行っているシャローム礼拝でもご紹介したものです。皆様にもご紹介します。

普段、忙しさを理由に殆ど母親に連絡をしない息子は、それでも安否だけは気にしていたので、無事を確認する目的で母親の寝室にカメラを取り付けていました。気が向いたときにそれを見ては安心していましたが、それが日課のようになると、いつしか母のことは何でも知っているとと思うようになっていました。



2026年のお正月は田舎に帰ることにした息子は大晦日、最近、体調を崩しやすく寝込むことが多くなった母を見て切なく思いその夜は布団を並べてふたりで寝ることにしました。むかしは母も幼い自分に寄り添って寝てくれたのだろう。そんな思いをめぐらせているうちにいつしか眠りに落ちました。

翌朝、ふと異変を感じたので母の身体を揺すってみましたが、母はすでに帰らぬ人となりました。

夜中に何があったのか、録画を見ているうちに息子は我慢を抑えられなくなって声をあげて泣きました。映像にはむかしと同じように息子の肩に布団をかける母、じっと息子の顔を見つめる母、そっと息子の頭を撫でる母の姿が映っていたからです。

相手に関心を持つということは、単に思ったり考えたりするだけでなく、言葉や実際の行為として表された時に大きな意味を持つのかも知れません。

さて、アドベンチスト福祉会の法人理念の根拠である聖書には日本語の「福祉」という言葉そのものは出てきません。しかし、英語の聖書には福祉を意味する「Welfare」という言葉が出てきます。

それは、兄達によって商人の一行に売られた弟のヨセフが、長い年月を経てエジプトの宰相（王の次位）にまで昇格する話の中に出てきます。（創世記43章、47章）

紀元前2000〜1800年頃にカナン地方を襲ったとされる大飢饉の際、食料を求めてエジプトに下つ

た兄たちは、目の前に立っている宰相がむかし自分たちが奴隷商人に売り渡した弟のヨセフであることに気が付かず、彼に食物を売ってほしいとひれ伏して懇願します。そのときの様子が聖書には次のように書かれています。「ヨセフは彼らの安否を問うて言った『あなた方がたの父、あなたがたがさきに話していたその老人は無事ですか』」（創世記43章27節）。「ここで『安否』と訳された英語が『welfare』（ウエルフェア）」です。さらにこのウエルフェアという英語は、旧約聖書が書かれたヘブライ語では「רוּחַ」(ロウ)と表記されていて、これはシャロームと読みます(右から読む)。

相手を想うとは、その人の幸せを心から願うことです。それを聖書では「平安」を意味するシャロームと言います。私たちのケアハウスもシャロームという名前です。この名前には、シャローム桜山で生活される皆様に、毎日安心して幸せに過ごしていただきたいと言う願いが込められています。

今月も、皆様の健康が守られてお幸せでありますように心からお祈りいたします。



ちよこつとニュース

主任 池原雅彦

●「ゆうきギャラリー2026」

・横浜わかば学園第一期卒業生 浅井裕妃さんによる六回目の展示会「ゆうきギャラリー2026」が2月10日(火)〜27日(金)、学園の「パン工房わかば」を会場に開催されます。俳句や絵画を通じて元気をもらえそうですよ。

●「バリチューバ コンサート」

横浜国立大学吹奏楽団×東京都立大学吹奏楽団 第19回バリチューバ コンサート
とき：2026年3月15日(日)
15時半開場 16時開演

ところ：横浜旭公会堂(鶴ヶ峰駅より徒歩7分)
入場無料

生活相談員から

●行事予定

- 2月24日 歌声サロン
- 3月1日 ラーメン屋台
- 3月3日 さくら餅(おやつ)
- 3月10日 歌声サロン

◎今月の一句(短歌と川柳そして絵画です)

・朝寝して 夜寝するまで 昼寝して
時々起きて 居眠りをする

齊藤 勇夫

・健やかに 山を歩めや 冬帽子

柳瀬 和子

絵 吉田和子



「寒牡丹(冬牡丹)」
園芸品種が多く、花の色も紅・白・淡紅・紫等多い(季語は冬)春を待つ花です。
この絵は自宅庭より。

● つぶやき

小島 健

レストランで食事の準備中モーツァルトの曲「トルコ行進曲」を聞いた際、「あれ、ベートーヴェンも同じ題の曲作っていたな」と思い、後でAIに質問してみました。

私感ではモーツァルトの曲は憧れを、ベートーヴェンの曲ではいかめしさがあり、その感想も入って質問したら以下の答えがありました。



・モーツァルト 人間は基本的に愛すべき存在で、異文化についても脅威ではなく面白くて魅力的であり、見習うところがある存在、ということをも曲で表現している。

・ベートーヴェン 世界を葛藤と克服の場ととらえており(交響曲運命が一例)、力を持つ異文化に対する威圧感と「乗り越えるべき」との気持ちを曲で表現している。

AIはうまく使うことで、新たな知識につながるな、と感じた話をさせていただきました。

ケアハウスに現れた、節分の鬼

